

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
C - 1	保険健康課

事務事業名	人材育成貸付金事業(医学生等奨学資金)				新規・継続・単年		継続				
					ソフト・ハード		ソフト				
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-1-2	医療・保健・福祉の連携								
	施策の課題(事務事業の実施目的)	臼杵市の医療を支える人材の育成・確保を目的に、経済的な理由で修学が困難で、かつ医師または看護師を目指す方を対象とした奨学金制度です。									
	関連施策名(施策コード)	-									
事業内容(経緯)	県内の高等学校、専門学校、大学に対して奨学資金制度の広報活動を行いました。また、総務課と共に今年度18歳に到達する市民宛てに奨学資金のチラシを送付しました。										
行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用		単位	数値の推移(総合計画の期間内)					
						R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	
	①	医学生奨学生	奨学生人数		人	2	2	3	3	4	
	②	看護学生奨学生	奨学生人数		人	3	3	6	7	9	
	③	広報件数	制度の周知を図るために広報した学校数		校	9	8	8	8	8	
基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	将来における医師又は看護師の確保に係る一人当たりの費用(千円)					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計	説明・算式・引用	事業費(千円)÷貸与者数					
	6,300	7,200	内容	貸付金	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			620	740	700	720	690
事業対象	本人又は保護者が臼杵市在住で、かつ将来市内の医療機関の業務に従事しようとする者		今年度の成果	令和5年度は新たに2名の看護学生に貸与しました。							
成果指標	指標名	臼杵市内の医療機関等への業務従事者数			単位	数値の推移(総合計画の期間内)					
	説明・算式・引用	卒業後、当該年度に市内の医療機関に勤務することになった人数。				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	
	指標設定の理由	本奨学金制度の目的の一つとして市内の医療を支える人材育成、確保があるためです。			人	1	-	-	-	4	
評価	有効性		効率性		評価の理由						
	B A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし		B A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い		令和5年度は新規看護学生2名を含めると、医学生3名、看護学生7名に貸与しており、教育の機会均等の面では役割を果たしていますが、市内医療機関への勤務にはつなげておらず人材確保の面では効果が低いからです。						
事業の問題・課題	本制度は医療従事者の育成及び人材確保並びに教育の機会均等を同時に図っています。将来の就職先へ介入できないことから、評価の難しさ、有効性や効率性に課題を抱えています。			目標達成に向け、次年度以降の取組	医療従事者の育成及び人材確保に関することと、教育の機会均等に関することに分けて評価することとします。医療従事者の育成及び人材確保に関する施策の在り方を検討します。						
課長評価	進捗状況		施策への貢献度		今後の方針						
	概ね順調		貢献度 中		強化		施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。				

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
C - 2	保険健康課

事務事業名	「うすき石仏ねっと」運営事業		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-1-2	医療・保健・福祉の連携	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	無駄の少ない安全で質の高い医療・介護サービスを提供するためには、専門職の連携が課題です。専門職に連携の「きっかけ」を与えることを目的に実施しています。		
	関連施策名(施策コード)	-		

事業内容(経緯)	大規模災害時においても「うすき石仏ねっと」を活用できるように、医療救護所の候補地にネットワーク環境を整備しました。令和6年7月頃からおおいた医療情報ネットワークと連携するために利用料、石仏カードの取り扱いなどに関することや、救急メニューの在り方について協議しました。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	石仏カードの発行枚数	石仏カードの発行枚数	枚	22,947	23,897	24,639	25,254	26,200
②								
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	石仏カード1枚当たりの事業費(円)				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費÷石仏カードを保有する臼杵市民の人数			
	10,559	10,707	内容	うすき石仏ねっと運営協議会に対する負担金	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源		610	540	600	611	600

事業対象	医療、介護サービスを利用する臼杵市民	今年度の成果	医療救護所の候補地(福良ヶ丘小学校、西中学校及び諏訪山体育館)にネットワーク環境を整備しました。
------	--------------------	--------	--

成果指標	指標名	石仏カード保有率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	臼杵市民の石仏カード保有数÷臼杵市人口		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	専門職による連携体制を測ることができるためです。安心、安全な医療、介護サービスを提供するためには専門職による連携が必要であり、「うすき石仏ねっと」は連携する機会を与えているためです。	%	46	48	49	49	50

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	検査データや服薬内容などを把握し活用することで、状態に応じた適切な治療につながり、早期治療や重症化予防にもつながっています。また、救急搬送時は適切な初期対応につながっているためです。一方で、事業所間、職種間において利用状況に差があるためです。	

事業の問題・課題	「うすき石仏ねっと」加入者数及び参加施設数は増えており、連携する体制は進んでいます。また、利便性の向上を図るためにシステムの改修も行っていますが、事業所間、職種間において利用状況に差があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	「うすき石仏ねっと」のあるべき姿を関係者間で整理し、マイナポータルなど国が進める医療DXにも注視しながら、今後10年先の計画を作成します。
----------	---	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	強化
施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。			

番号	課名
C - 3	保険健康課

事務事業名	がん検診事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-1-1	生涯を通じた健康な生活習慣の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	市民の健康寿命延伸のためのがん対策	
	関連施策名(施策コード)	I-1-2	医療・保健・福祉の連携

事業内容(経緯)	がんを早期発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減らすことを目的に、胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・乳がん検診(女性のみ)は40歳以上の方、子宮頸がん検診は20歳以上の女性の方に、がん死亡率の減少が科学的根拠に基づいて検証された5つのがん検診を実施しています。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	胃がん検診受診率	受診者数/対象者数(50~69歳)※国保加入者	%	男 10.6 女 14.8	男 21.8 女 21.1	男 20.8 女 17.6	男 18.2 女 17.9	男 25 女 25
②	肺がん検診受診率	受診者数/対象者数(40~69歳)※国保加入者	%	男 24.2 女 28.7	男 21.2 女 32.0	男 25.5 女 33.7	男 24.6 女 32.0	男 30 女 40
③	乳がん検診受診率	受診者数/対象者数(40~69歳)※国保加入者	%	27.2	40.1	46.1	30.7	50
④	子宮頸がん検診受診率	受診者数/対象者数(20~69歳)※国保加入者	%	21.6	36.9	29.9	33.0	35

基本項目	コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	巡回子宮頸がん検診受診者一人あたりの費用(千円)				
		前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	委託費等/ 巡回子宮頸がん検診受診者数			
	38,976	37,150	内容	委託費、需用費、役務費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	財源	一般財源	5.7	8.4			6.9	9.3	8.5		

事業対象	各種がん検診対象者	今年度の成果	「うすきとくとく健診」の取り組みにあわせ、がん検診受診勧奨を行いました。厚生労働省が提示するがん発見率の許容値はいずれのがんも下回っていますが、令和5年度の子宮頸がん検診受診率が向上しました。
------	-----------	--------	--

成果指標	指標名	がんの発見につながった割合	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	がん発見数/がん検診受診者数 ※( )内はがん発見数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	がん検診の目的であるがんの発見率の向上を図り、国の示す目標値と比較することでがん検診の効果を確認していきます。		%	男 0.28(3) 女 0.06(2) 男 0.25(7) 女 0.32(3) 男 0.00(0)	男 0.25(3) 女 0.16(6) 男 0.13(4) 女 0.27(13) 男 0.00(0)	男 0.09(1) 女 0.00(0) 男 0.00(0) 女 0.18(2) 男 0.00(0)	R7.5 確定予定

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	がん検診受診率について、伸び悩んでいるものもあるため、今後も受診率向上対策に取り組み、効率的な実施に向けて改善が必要です。	

事業の問題・課題	検診実施場所として地区巡回検診、館内検診、個別検診を確保し、さらに地区巡回検診ではレディースがん検診の日を設けるなど受診率向上のために環境を整えています。受診率の停滞が課題です。	目標達成に向け、次年度以降の取組	がん検診受診率の向上の取り組みとして、特定健診の受診勧奨や健診日程に合わせて、郵送や電話などで対象年齢や性別ごとに検診の目的や受診するメリット、受診方法などを分かりやすく周知していきます。
----------	---	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	強化 施策に対する貢献度が大きい。効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
C - 4	保険健康課

事務事業名	予防接種事業		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-2-3	安心して産み育てるための支援	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	感染症の感染及びまん延を防止するとともに、感染した場合でも重症化しないために予防接種事業を実施します。一部任意予防接種の費用助成を行うことで、上記の感染対策とともに経済的負担の軽減も図ります。		
	関連施策名(施策コード)	I-1-1	生涯を通じた健康な生活習慣の推進	

事業内容(経緯)	感染症の感染及びまん延予防、また感染した場合でも重症化を防ぐため、予防接種法による定期予防接種及び一部任意予防接種の費用助成を行い、子どもの健康を守ります。任意予防接種は、おたふくかぜ、小児インフルエンザ予防接種に対して、費用助成を行っています。MRワクチン接種は国も接種率95%の目標掲げる予防接種であり、臼杵市でも個別通知や電話かけなど接種勧奨に注力しています。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	接種勧奨の回数	対象者に対し市が接種勧奨を行った数	回	4	4	5	6	7
②								
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	個別通知にかかった費用				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	未接種者への接種勧奨にかかった費用(ハガキ等)			
	78,337	79,587	内容	予防接種委託料 他	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般		-	-	-	36.0	-

事業対象	市民(主に乳児から児童)	今年度の成果	個別通知や電話かけ等で接種勧奨を行いました。接種率が伸び悩んだため、通知内容を精査して、疾患の説明および予防接種の必要性・重要性を再度伝えていきました。
------	--------------	--------	--

成果指標	指標名	MR2期の接種率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	MR2期接種者数/年度内対象数(小学校就学前1年間の幼児)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	国も目標接種率を設定しており、重要な感染対策の1つのため	%	96.30	98.70	92.10	93.00	95.00

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	有効性については、接種勧奨の回数を増やしたことにより、前年度よりも接種率が向上しました。しかし、2月時点でも未接種者が多く、個別通知や電話かけの件数が多い状況です。接種勧奨の件数が多いと、それだけ費用もかかるため、2月時点の未接種者数を減らすため、勧奨内容や時期を見直す必要があります。	

事業の問題・課題	MR2期の接種率が低下しています。季節性の感染症(インフルエンザ等)流行期より前に接種するよう勧奨を行っていますが、接種につながらない状況です。通知の内容やタイミングを見直す必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	年度途中の接種勧奨では主に、『接種費用無料』を謳っていましたが、疾患の概要と感染予防に予防接種が有効であることに重点を置いて勧奨を行います。また、接種勧奨も季節性感染症流行前に1回増やします。
----------	---	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	概ね順調	貢献度 中	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
C - 5	高齢者支援課

事務事業名	安生寮整備事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-4-9	生活の安定と自立への支援
	施策の課題(事務事業の実施目的)	経済的及び環境上の理由により、自宅での生活が困難な高齢者が市の措置により安心して暮らせる施設の確保を行います。	
	関連施策名(施策コード)	VI-18-41 I-1-2	快適な住環境の確保 医療・保健・福祉の連携

事業内容(経緯)	令和元年度、養護老人ホームを新たに整備・運営する法人を公募する方針(民設民営化)を出しましたが、まだ民営化には至っていません。令和5年度からは、新たな法人が指定管理者となり運営を開始しました。建設から30年以上経過しているため、建物の老朽化も進んでいる状況でありますが入所者の安心・安全な暮らしを確保していくため、必要に応じて適宜修繕・工事を行う予定です。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	施設の改修箇所数	発注した修繕・工事箇所数	件	2	2	8	8	-
②								
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	入所者1人当たりの費用(千円)					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費(施設の改修のみ)/60名(入所定員)				
	3,062	14,268	内容	修繕費、工事費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	地方債			3	69	51	238	33

事業対象	養護老人ホーム臼杵市安生寮の入所者及び職員	今年度の成果	工事を2箇所、修繕を5箇所、計7箇所の改修を実施しました。また、急傾斜地崩壊対策1件を行っています。
------	-----------------------	--------	--

成果指標	指標名	施設の改修箇所数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	定期調査等の結果や安生寮の指定管理者から指摘のあった要改修箇所を実施した数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	入所者の安心・安全の確保が重要であるため	箇所	2.00	2.00	8.00	8.00	※計画的ではないため。

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	適宜改修することで、入所者及び職員が安心・安全に生活できることが期待されます。必要最低限の改修を行い、軽微な修繕は指定管理者が対応することでコストを抑えるための対応をしています。

事業の問題・課題	養護老人ホーム臼杵市安生寮は建設から30年以上経過しています。そのため、建物の老朽化が進んでおり、今後も改修が適宜必要になることが見込まれます。	目標達成に向け、次年度以降の取組	入所者が安心して生活ができることを第一に、必要性の高い箇所から優先的に改修を行います。また、養護老人ホームの在り方について検討を進めていきます。
----------	--	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
C - 6	高齢者支援課

事務事業名	老人憩の家等改修事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-3-6	高齢者の生きがいづくりへの支援
	施策の課題(事務事業の実施目的)	各地区でのコミュニティ活動や地域サロン等の活動を行う場となる老人憩の家、公民館について、利用しやすい環境づくり	
	関連施策名(施策コード)	I-1-1	生涯を通じた健康な生活習慣の推進

事業内容(経緯)	各自治区からの要望に基づき、高齢者が利用しやすい施設とするためバリアフリー化や老朽化した箇所の改修について、市が設置した23箇所の「老人憩の家」については直接工事を、また各自治会が所有する集会所等については補助金を交付します。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	施設の改修数	老人憩の家等(地区集会所、公民館を含む)の修繕箇所数	箇所	12	15	19	18	12
②	改修要件件数	各地区からの改修要件件数	件数	32	40	43	37	-
③	改修実施率	改修要望に対する改修実施率	%	37.5	37.5	44.2	48.7	30.8
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	1件当たりにかかる改修費用(千円)					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	改修に係る費用総額/実施箇所数				
	18,077	13,628	内容	工事費、交付金、修繕料、手数料	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	地域福祉基金			998	725	745	717	1532

事業対象	各自治会、老人憩の家利用者	今年度の成果	熱中症予防対策など高齢者が利用しやすい施設環境を整備することができ、施設利用の促進、有効活用が図られました。 令和5年度施設改修実施件数:18件
------	---------------	--------	---

成果指標	指標名	施設の年間利用日数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	老人憩の家年間利用日数(全施設の平均値)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	集会所の利用人数把握は難しいため、指定管理を行う老人憩の家に利用者数を指標にしています。	日	36	34	35	35	35

評価	有効性		効率性		評価の理由				
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	高齢者の集いの場の確保は重要であり、環境整備により利用者の安心安全が確保されることは効果があると考えますが、その一方で少子高齢化の影響などで利用者もかなり減少している状況にあります。地区での改修や維持費用の捻出が厳しい状況において要望も多くある中、安全面、健康面などを考慮し計画的に実施を行っています。				

事業の問題・課題	憩の家、地区集会所は築年数が30年以上経過している建物も多く、エアコンなどの設備面も含め、改修工事が必要な案件が増えています。その一方で、少子高齢化の影響もあり、利用者が減少している状況もあります。今後は、旧臼杵市老人憩の家の方向性の検討や、全体的にも費用対効果を鑑み、改修について自治会と協議をしていく必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	自治会からの改修要望や建物調査から出された必要改修箇所は、関係者にヒアリング等を行い、緊急性の高いもの、改修効果が高いものから順次対応していきます。老人憩の家、集会所の改修や在り方を含めた課題については関係部署との協議を継続し実施していきます。
----------	--	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	概ね順調	貢献度 小	見直し	事業の効果はありますが、施策への貢献度が小さいため、貢献度に応じたものになるよう事務事業を見直します。

番号	課名
C - 7	子ども子育て課

事務事業名	子ども・子育て総合支援センター管理事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-2-4	地域における子育て環境の充実
	施策の課題(事務事業の実施目的)	妊娠期からから18歳までの切れ目のない支援を行う	
	関連施策名(施策コード)	I-2-3	安心して産み育てるための支援

事業内容(経緯)	妊娠期から18歳までの様々な相談にワンストップで対応し、切れ目のない支援を提供するため、児童福祉、母子保健に係る事業に一体的に取り組んでいます。様々な相談を統括し、関係機関と連携を取りながら、体制と施設機能の充実を図っています。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	ちあぼーと開所日数	年間開所日数(4月=3月)	日	269	271	271	267	266
②	相談対応件数	相談対応件数(来所)	件	2295	1619	832	1104	1500
③	子ども子育て会議開催回数	開催回数	回	-	2	1	1	2
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	センター来所者数				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	来所者一人当たりのコスト			
	3,537	3,102	内容	子ども子育て総合支援センター管理費	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源		-	-	590	498	650

事業対象	保護者・児童	今年度の成果	児童や家庭のケースに応じて、専門職や職員等が素早く共通理解を行い、対応しています。じっくりと話を聞いてほしいという保護者が何度も利用するケースが増えているほか、SNS等による情報発信の機会も増えています。
------	--------	--------	--

成果指標	指標名	センター来所者数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	センター総利用者数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	来所者数の増加によってより多くの相談や専門職へのコーディネートができるようになり、細部への支援につながる。	人	8956	7797	5986	6225	6500

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	各専門職員が連携をし、相談や訪問を行い、多様なケースに対応することができワンストップ化が浸透している。あそびの広場に来所をして、子育ての困りや不安を個別に相談することができ、確実に支援へつなげることができている。各専門職員がケースや実態に応じてその場で話し合いをサポートにつなげられるため効率的に動くことができています。

事業の問題・課題	・来場者や相談件数の増加から、総合的で切れ目のない子育て支援の拠点としての認知度が増したことが考えられます。今後も今まで以上に支援体制の充実を図ることが必要です。	目標達成に向け、次年度以降の取組	・支援が必要な方の情報等について、システム等を利用し情報共有をしやすいなどの環境整備を行うことで支援体制の強化を図っていきます。
----------	---	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 大	向上
施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。			

番号	課名
C - 8	子ども子育て課

事務事業名	地域子育て支援拠点事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-2-4	地域における子育て環境の充実
	施策の課題(事務事業の実施目的)	教育・福祉の連携・接続の充実	
	関連施策名(施策コード)	I-2-3	安心して産み育てるための支援

事業内容(経緯)	乳幼児及び保護者が集い相互交流を行う場所を開設し、子育ての相談・情報提供等の援助を行うものです。地域子育て支援拠点の職員を対象に研修会を実施し、職員等の資質の向上を図りました。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	子育て支援「あのね」行事開催回数	リズム遊びや工作等、プログラム立案・企画・実施	回	105	135	128	137	130
②	ウスキッズ行事開催回数	ベビーマッサージや工作等、プログラム立案・企画・実施	回	84	136	164	156	165
③	よいこのへや、子育て支援センター童一時預かり事業利用者数	様々な理由で一時的に家庭保育が困難となる子どもの預かり	人	161	167	266	350	230
④	従事者連絡会及びスキルアップ研修会開催回数	研修や各拠点の取組みについてグループワーク等を実施	回	1	2	5	3	3

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	利用者一人あたりの経費					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費を利用者数で除した数				
	39,294	40,356	内容	委託費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	国県補助金、一般財源			5,059	5,301	4,709	3,333	3,668

事業対象	乳幼児及びその保護者(乳幼児の子育てに関わる家族)	今年度の成果	拠点カレンダー等の広報物のデザインを利用者が見やすいように変更しました。また、各拠点との連携を密にし、スタッフのスキル向上のため市主催で研修会や連絡会を実施しました。
------	---------------------------	--------	---

成果指標	指標名	利用者数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	拠点を利用する親子の総数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	乳幼児及びその保護者の利用希望があるか	人	7,653	7,412	8,343	12,106	11,000

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	新型コロナウイルスも落ち着き、利用ニーズが増加傾向にあります。各拠点を利用、相談して、職員がケースや実態に応じてその場で話し合いをしサポートにつなげられるため効率的に動くことができています。また、ファミリー・サポート・センターやホームスタート等ほかの支援の繋ぎ役としても貢献しています。	

事業の問題・課題	出生数の減少、3歳未満児の就園率の上昇に伴い、拠点の利用者数が減少傾向を示すことは推測できるが、利用者の個々の育児に対する支援については、今後ますます必要になるため、スタッフへの継続したスキルアップが必要です。	目標達成に向け、次年度以降の取組	スタッフのスキルアップのため、拠点の連絡会や研修会を引き続き実施します。
----------	---	------------------	--------------------------------------

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 大	向上
施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。			

番号	課名
C - 9	子ども子育て課

事務事業名	病児・病後児保育事業		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-2-4	地域における子育て環境の充実	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	就業率上昇を見越した保育ニーズへの対応		
	関連施策名(施策コード)	-		

事業内容(経緯)	0歳から小学校6年生までの児童を対象に病気のために集団生活が困難な場合や保護者が保育できない場合、保護者に代わり保育を行う事業です。病児保育のシステムを活用し、利用者がいつでもどこでも予約や施設の空き状況等確認できるよう取り組みました。			
----------	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	広報数	市報・HPの掲載回数	回	-	14	5	3	5
②								
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	受入れ病児・病後児数					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	ひとりあたりの預かりコスト				
	17,048	21,078	内容	委託費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	国県補助金、一般財源			55,480	19,247	33,167	16,327	15,836

事業対象	保護者・子ども	今年度の成果	新型コロナウイルスが感染症法上第5類になって以降、コロナ前の利用者水準まで上昇しています。
------	---------	--------	---

成果指標	指標名	延べ利用者数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	延べ利用者数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	安定的に病児・病後児の受け入れができていますか	人	350	889	514	1,291	1,300

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	新型コロナウイルスに加え、インフルエンザ等の感染症も大流行しましたが感染防止対策を徹底したうえで提供体制を確保し、対応しました。また、利用児童数も増加傾向であるが、システム等を活用し効率よく受入れています。	

事業の問題・課題	市外助成制度について、実績がないことから周知の方法を検討する必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	病児保育の利用の案内については市報・ホームページ・公式LINE等で広報をしているので、併せて市外助成制度についても広報していきます。
----------	--	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
C - 10	子ども子育て課

事務事業名	放課後児童健全育成事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-2-4	地域における子育て環境の充実
	施策の課題(事務事業の実施目的)	就労家庭の子どもたちにとっての、放課後の安心安全な居場所となる	
	関連施策名(施策コード)	-	

事業内容(経緯)	保護者が就労等により昼間家にいない小学生の児童を対象とし、放課後等に適切な遊び及び生活の場を提供し、放課後の児童の健全な育成を図ります。児童クラブは社会福祉法人等に委託し、連携を取りながら児童の健全育成を図ります。放課後児童支援員の処遇改善の取り組みを行いません。			
----------	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	児童クラブ開設数	学区区ごとの開設	校区	11	11	11	11	11
②	市内の小学校数	市内の小学校数	校	13	13	13	13	13
③	登録児童数	月別登録児童数×12か月の人数	人	7522	7496	7255	7406	7700
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	年間の延べ登録児童数				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	登録児童一人当たりのコスト			
	114,272	122,059	内容	放課後児童健全育成事業委託料	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源,補助金		-	-	15,800	16,481	17,000

事業対象	保護者・児童	今年度の成果	引き続き、感染症防止対策を講じながら、安心で・安全な児童クラブの運営を行うことができています。また、コロナ禍に実施できなかった放課後児童支援員研修を年2回実施し、支援員の質の向上を図ることができました。
------	--------	--------	---

成果指標	指標名	放課後児童クラブ利用率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	全学区区に対する利用率(児童クラブ登録者数/児童生徒数(R6.3月時点))		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	設置環境の改善等に活用する。		%	36.18	38.15	38.65	41.2

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	各クラブとも子どもの安心・安全な生活を考えた内容になっており、保護者が安心して預けることができています。登録児童数も増加し、待機児童もいないことから児童クラブの機能を十分果たしている。国県の補助もあることからコスト的にも効率的に運営ができています。

事業の問題・課題	引き続き職員体制や、活動内容等各クラブの環境改善に努めていきたいです。支援員不足も引き続きの課題となっているため、改善策を講じる必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	各クラブの改善事項を把握し計画的に環境整備をしていきたいです。放課後児童支援員の処遇改善を引き続き行っていきます。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
C - 11	子ども子育て課

事務事業名	臼杵市立下南こども園指定管理委託業務	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-2-4	地域における子育て環境の充実
	施策の課題(事務事業の実施目的)	幼児教育・保育環境の充実を図ります。	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	公立認定こども園の運営・管理を社会福祉法人に指定管理委託し、効率的・専門的な運営と、安定した質の高い教育・保育サービスの提供を行いました。また、臼杵市保育士等キャリアアップ研修を実施し、私立幼児教育・保育施設とともに研修の機会を確保し、保育士等の専門性・資質の向上を図りました。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	公立認定こども園入所児童数(R2~1号認定含む)	対象児童数(3月1日時点)	人	81	81	81	77	80
②	保育士等キャリアアップ研修実施分野	キャリアアップ研修の実施分野	分野	-	-	1	2	3
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	入所児童の預かりコスト				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	入所児童1人・1月あたりの預かりコスト 総事業費/延入所人数/12月			
	94,162	105,984	内容	指定管理料	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源・県補助金・市外運営費等		-	-	8286.0	10179.0	11228.0

事業対象	臼杵市に住む0~5歳児及びその保護者	今年度の成果	延長保育、一時預かり、障がい児保育等を実施しており、保護者の多様なニーズに合わせて児童の受け皿を確保しています。
------	--------------------	--------	--

成果指標	指標名	受入児童割合	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	受入児童数/施設定員		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	定員設定が適切かを確認するため	%	101	101	101	90.2	100

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	毎年度、安定的に入所希望があります。また、園長が代わり、「笑顔あふれるこども園」実現に向けた「こどもファースト」の姿勢や、「笑顔あふれる人間関係」の確立などに取り組んでいます。また、私立園と同様の公定価格単価や国県補助金額を基に委託費(主に人件費)を算出し、効果的な運営を行っています。	

事業の問題・課題	保護者にも、保育士にも選ばれる園を目指すため、さらなる職員全員(正規・パート)の専門性・資質向上が求められます。また、公立として災害時の他園の園児受入れ方法等について、検討し共有しなければなりません。	目標達成に向け、次年度以降の取組	職員の専門性・資質向上のため、研修の受講をすすめるとともに、指定管理先と連携し、定期的に3者(市・社協・園)で意思疎通を図ります。また、災害時の受入れについて、検討を進めていきます。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	順調	貢献度 大	向上	施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
C - 12	子ども子育て課

事務事業名	子ども医療費助成事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-2-3	安心して産み育てるための支援
	施策の課題(事務事業の実施目的)	疾病の早期発見と治療を促進、保護者の経済的負担軽減	
	関連施策名(施策コード)	I-2-5	親育ち・家庭教育の推進

事業内容(経緯)	子どもの疾病の早期発見と治療を促進し、保健の向上及び保護者の経済的負担軽減を図ることを目的に、保険診療に係る自己負担部分を助成しています。平成27年7月からは小中学生の通院医療費についても助成対象としています。また、令和4年7月より、小中学生の一部自己負担額についても無償化しました。さらに令和6年4月から助成対象を高校生世代まで拡大します。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	医療費助成額	医療費助成額(現物給付・未熟児・償還払い)	千円	103,531	80,538	94,397	124,540	135,000
②								
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	医療費 1件当たりの費用(千円)					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	医療費助成額(現物給付・未熟児・償還払い) / 助成件数				
	98,049	128,646	内容	需用費、役務費、委託料、扶助費など	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			2.5	1.7	2.1	2.3	2.8

事業対象	医療費助成の対象となる子ども及びその保護者	今年度の成果	令和6年4月から助成対象者を高校生世代まで拡大し、通院・入院などの医療費を無償化することで、保護者の経済的負担を更に軽減するための準備が整いました。
------	-----------------------	--------	--

成果指標	指標名	医療費助成件数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	医療費助成延件数(現物給付)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	-	件	41,476.00	46,345.00	44,615.00	55,063.00	47,394.00

評価	有効性		効率性		評価の理由
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	

事業の問題・課題	子どもへの医療費助成制度は全国の市町村で実施されています。県内では大分県の補助事業として実施されていますが、市町村の独自事業として自己負担を軽減していたり、助成対象を拡大している状況です。子ども医療助成制度は、社会保障制度として、どこに住んでも同じサービスが受けられるような仕組みが必要と考えます。	目標達成に向け、次年度以降の取組	子育て世代の医療費負担の軽減のため、令和4年7月より小中学生の一部負担額分を無償化しました。そのことで自己負担なく気軽に受診できるようになります。適正受診の啓発が必要になると考えますので、病院のかかり方について、受給資格者証発行の際やホームページや市報などで広報をします。また出生や転入時に配布する資料の作成を行いたいと考えています。令和6年4月からは高校生まで無償化する予定です。
----------	---	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	6	
	順調	貢献度 大	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
C - 13	子ども子育て課

事務事業名	乳幼児健康診査(母子保健事業)	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-2-3	安心して産み育てるための支援
	施策の課題(事務事業の実施目的)	母子保健法第12条・13条に基づき、母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、母子保健に関する原理を明らかにするとともに、保健指導、健康診査等を実施することを目的として実施しています。	
	関連施策名(施策コード)	I-1-1	生涯を通じた健康な生活習慣の推進
		I-2-4	地域における子育て環境の充実

事業内容(経緯)	対象児の保護者に案内通知を送付し、ちあぽーとにて集団形式で乳幼児健診を実施します。小児科医・歯科医・保健師・管理栄養士・歯科衛生士・視能訓練士等の専門職が診察・保健指導・相談等を行います。乳児は、医療機関での個別健診も受診できるよう受診券を交付しています。未受診者の保護者には電話連絡を行い、訪問・来所・子育て支援拠点施設等で身体計測や保健指導を実施します。また、5歳児健診・すこやか相談会を実施しています。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	乳幼児健康診査受診率	4か月・10か月・1歳6か月・3歳6か月児健診受診者数/対象者数×100	%	93.8	93.9	99.9	97.8	96.5
②	乳幼児健診受診者数	4か月・10か月・1歳6か月・3歳6か月児健診	人	769	605	620	619	600
③	健診未受診者への受診勧奨	受診勧奨数/未受診者×100	%	100	100	100	100	100
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	受診者一人当たりの費用(千円)					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	総事業費(千円)/受診者数				
	2,893	2,340	内容	報償費、需用費、健診委託料、使用料及び賃料等	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			2.9	4.8	4.7	3.8	4.5

事業対象	4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳6か月児とその保護者	今年度の成果	成長発達の確認や、医療もしくは精密検査が必要な児の早期発見、生活リズム・栄養指導などの保健指導を行いました。健康講話や保健指導に時間を使えるように、問診票をLogoフォームで回答する体制を整えました。
------	--------------------------------	--------	--

成果指標	指標名	3歳6か月児健診受診率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	受診者数/対象者数×100		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	3歳児健診は法定健診で、市が全数実施する最後の乳幼児健診です。適切な支援を行うためには、健診を受診してもらう必要があります。		%	98.4	98.4	100.0	98.9

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	問診票と予防接種状況の写真をLogoフォームで事前に回答していただくことで、健診当日は健康講話や保健指導などに時間を使うことができます。				

事業の問題・課題	未受診者勧奨は行っていますが、受診率が100%ではないことが課題です。	目標達成に向け、次年度以降の取組	住民が正確に診断を受けられたり、必要な保健指導を受けられるように、健診スタッフ用マニュアルを整えます。
----------	-------------------------------------	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	順調	貢献度 大	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
C - 14	子ども子育て課

事務事業名	不妊治療費助成事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-2-3	安心して産み育てるための支援
	施策の課題(事務事業の実施目的)	不妊に悩む夫婦の不妊治療費用の一部を助成することにより経済的負担を軽減し、少子化対策の一環として、子どもを望む方の希望が叶うような環境づくりを推進することを目的としています。	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	令和4年4月より不妊治療費が保険適用となったことに伴い、制度変更を行い、年齢制限・回数制限を撤廃しました。医療機関における不妊治療に要した費用のうち、1年度の治療あたり10万円を上限として助成を行います。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	人工授精治療費助成件数	費用助成を行った件数 ※R4年度より④に統合	件	10	12	-	-	-
②	不妊検査費助成件数	費用助成を行った件数 ※R4年度より④に統合	件	4	13	-	-	-
③	特定不妊治療費助成件数	費用助成を行った件数	件	11	22	14	4	20
④	不妊治療費助成件数(R4~)	費用助成を行った件数	件	-	-	12	16	20

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	1件当たりの助成費用(千円) ※R4年度以降制度改正あり					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	不妊治療費助成額(扶助費分のみ)/助成件数				
	1,528	1,452	内容	負担金、扶助費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			-	-	81.6	90.7	100.0

事業対象	不妊症と診断され不妊治療を望む住民	今年度の成果	子どもを望む方の経済的な負担軽減につなげることができました。また、電子申請システムを活用し、事前相談や申請日の来所予約を可能としたため、よりプライバシーに配慮できるようになりました。
------	-------------------	--------	---

成果指標	指標名	助成による治療費のカバー率(扶助費分のみ)	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	申請された不妊治療費用全体のうち、助成額の占める割合。助成額÷申請額×100		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	経済的負担の軽減を目的としているため	%	75.2	88.0	68.1	45.2	80.0

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	B A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	不妊治療費は一部保険適用になりましたが、それでも現在の助成上限額では、経済的負担が大きくなっており、そのため、助成上限額を見直し、より経済的負担の軽減につなげることで、子どもを望む方が不妊治療に安心して臨むことが出来ると考えます。	

事業の問題・課題	不妊治療費全体に対する助成額のカバー率が年々低下しており、助成上限額の見直しが必要と考えます。また、不妊治療を受けておられても助成申請をされていない方もおられ、事業の周知方法等に課題があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	不妊治療の助成制度に関して、上限額の見直しを含め、市報やホームページや公式LINEを活用し、周知を行います。また、本事業に関するチラシを作成し、不妊治療実施医療機関等に配布依頼を行います。
----------	---	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	順調	貢献度 中	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
C - 15	子ども子育て課

事務事業名	妊産婦医療費助成事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-2-3	安心して産み育てるための支援
	施策の課題(事務事業の実施目的)	妊産婦の疾病の早期発見と早期治療の促進、母子の健康の保持及び増進	
	関連施策名(施策コード)	I-2-4	地域における子育て環境の充実

事業内容(経緯)	平成31年度より、安心して子どもを産み育てられる環境づくりのため、妊産婦の医療費の内、保険診療の自己負担分を助成する事業を行っています。妊娠届出時や出生時・転入時、赤ちゃん訪問時に説明を行い、母子手帳の交付を受けた(又は転入した)月の翌月初日～出産日の翌月末日までに診療を受けた「保険適用分の自己負担額」を助成しました。令和6年4月1日以降に母子健康手帳交付を受けた方からは、さらに対象期間を拡大することとします。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	医療費助成額	医療費助成額(償還払い)	千円	5027	4289	4829	3428	4,032
②	医療費助成人数	医療費助成申請者実人員	人	138	115	136	112	192
③	チラシ配布数	妊娠届出時のチラシ配布率	%	100	100	100	100	100
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)	当該年度の事業費の内容		指標名	助成者一人当たりの費用(千円)						
		前年度(R4)	当該年度(R5)		会計	一般会計	説明・算式・引用	総事業費(千円)/助成人数			
	4,829	3,428	内容	扶助費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			36.4	37.3	35.5	30.6	21.0

事業対象	妊産婦医療費助成の対象となる妊婦及び産婦	今年度の成果	妊娠期からの支援充実として医療費助成を行うことで、経済的負担軽減を図り、妊産婦の方の早期受診と治療を促進し、安心安全な出産にもつながっています。
------	----------------------	--------	--

成果指標	指標名	妊産婦医療費助成件数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	医療費助成件数(償還払い)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	申請件数を評価し、助成事業を通して必要な受診ができたかを確認します。		件	1505	1368	1382	1503

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	妊娠中の医療機関受診について「費用がかかるためあまり病院に行けなかったが、気にせず行こうと思えるようになった」との声もあり、必要な時に受診ができるような効果も得られています。医療費助成の効果として、生活習慣病や歯科(口腔)の管理等がしっかりと行えれば、安全な分娩につながるだけでなく、今後低出生体重児の出生の抑制効果が期待されます。令和1年度から令和4年度にかけては低出生体重児の割合は増加傾向にあるため、今後も事業を続け、低出生体重児の出生を抑制していく必要があります。				

事業の問題・課題	4か月児健診時に実施したアンケートより、97.8%のご家庭が本事業を知っており、94.5%の方が満足しているが、申請している人の割合は68.2%でした。申請していない理由として申請を忘れていたり、健診後の申請を予定していることが挙げられます。また、妊娠届出前より妊娠悪阻があったり、産後も乳腺炎等体調を崩しやすいため期間を延ばしてほしいという意見がありました。	目標達成に向け、次年度以降の取組	引き続き、妊娠届出時や出生届出時で本事業や対象期間、申請方法などについて詳しい説明を行い、必要な受診ができるよう勧め、申請を促していきます。次年度からは、対象期間をさらに延長して妊娠初期や産後の体調不良時にも安心して受診ができるように取り組みます。
----------	--	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	順調	貢献度 大	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
C - 16	子ども子育て課

事務事業名	臼杵市支援対象児童等見守り強化事業(アウトリーチ型/居場所型)	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-2-4	地域における子育て環境の充実
	施策の課題(事務事業の実施目的)	-	
	関連施策名(施策コード)	-	

事業内容(経緯)	支援が必要な児童のいる家庭に対して、食料や日用品等を配布しています。委託先のさぼーとセンター風車と連携し、月に1~2回家庭訪問をしています。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	訪問回数	対象家庭への訪問回数	回	-	-	8	165	-
②	対象の世帯数	対象世帯の総数	件	-	-	5	13	-
③	対象の児童数	対象児童の総数	人	-	-	13	34	-
④								

基本項目	コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	訪問回数				
		前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	訪問回数1回あたりのコスト			
	360	9,729	内容	委託費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			-	-	-	58,964	-

事業対象	支援が必要と認められる児童がいる家庭	今年度の成果	R5年度は、13世帯34名の児童を対象にサポートを行いました。食料や日用品等の配布を行うことで、経済的な支援を行うことができました。定期的に訪問を行うことで、児童の安全確認及び児童に必要と思われる支援を行うことができました。
------	--------------------	--------	--

成果指標	指標名	訪問回数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	訪問総回数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	訪問回数の増加によって、食料や日用品配布の支援のみならず、適宜のアセスメントを行うことが可能となり、対象家庭の状況を把握しやすくなる。		回	-	-	-	165

評価	有効性		効率性		評価の理由				
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	児童や保護者と話をすることで、随時生活状況を確認でき、適切な支援に結びつけることができました。家庭によっては、食料等の支援で止まっているため、アセスメントを行う仕組みを作る必要があります。				

事業の問題・課題	食料や日用品の配布をする支援のみとなっている家庭があるため、生活を根本的に改善していくための次の支援策を対象家庭の児童や保護者と話をする機会作りが必要と思われます。	目標達成に向け、次年度以降の取組	家庭訪問の際に、児童や保護者が生活上で困っていること、課題等について共有を図ります。その後、状況に応じて、必要な支援に結び付けていきます。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	概ね順調	貢献度 中	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
C - 17	子ども子育て課

事務事業名	保育料の完全無償化事業		新規・継続・単年	新規
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-2-4	地域における子育て環境の充実	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	幼児教育・保育環境の充実を図ります。		
	関連施策名(施策コード)	-		

事業内容(経緯) 【令和元年10月から第2子以降:全額補助】国の教育・保育無償化と同時に、多子家庭の子育てに対する負担を軽減する少子化対策事業(大分県独自事業)を拡充しました。合わせて、認可外保育施設に通う第2子以降の3歳未満児の無償化の範囲を拡充しました。  
 【令和5年4月から保育料完全無償化】これまでの取組に加え、本市独自施策として、3歳未満児戸籍上第1子の保育料を無償化しました。これにより、認可保育所等に通う0～5歳児の保育料が完全無償化となりました。

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	保育料無償化対象延べ児童数	対象園児の延べ人数	人				3512	3512
②	認可外保育施設に通う園児数	対象園児の延べ人数	人				0	0
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	一人当たりの保育料軽減コスト				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	保育料総額/無償化対象延べ児童数			
	-	113,032	内容	戸籍上第2子以降の保育料に対する補助金	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	大分にここご保育支援事業費補助金		-	-	-	32185.0	32185.0

事業対象 臼杵市に住む0～5歳児及びその保護者  
 今年度の成果 国の保育の無償化以降、唯一保育料が発生していた戸籍上第1子の保育料無償化を図ることで、保育所等に通うすべての子育て世帯の経済的負担の軽減ができ、幼児教育・保育環境の充実を図ることができました。

成果指標	指標名	保育料の軽減割合	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	市及び県の保育料の軽減割合		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	保護者の保育料負担の軽減割合を確認します。		%	-	-	-	100.00

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	令和5年度より、保育料の完全無償化を実現したことで、保護者の経済的負担の軽減及び幼児教育・保育環境等の充実を図ることができました。	

事業の問題・課題 少子化が進行する中、園児が少なくなっているため、一時預かり事業や子ども誰でも通園制度等の事業をはじめとしたさまざまな子育て支援サービスの充実により、対象世帯の拡大を図る必要があります。  
 目標達成に向け、次年度以降の取組 保育料完全無償化をはじめとした、さまざまな子育て支援サービスの充実を市内外に周知し、子育て世帯の移住・定住の促進を図ります。

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
C - 18	子ども子育て課

事務事業名	子育て応援出生祝品贈呈事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-2-4	地域における子育て環境の充実
	施策の課題(事務事業の実施目的)	子育て世帯の経済的負担の軽減、商店街の振興	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	次代を担う子の出生を祝福するとともに、子どもの健やかな成長に寄与するため、令和3年4月1日以降に出生し、臼杵市に住民登録されたお子さんを養育する保護者等に対し、子一人につき2万円分の商品券を出生届の際に交付しています。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	商品券の交付人数	対象者に商品券の交付を行った件数	人	148	142	142	149	180
②	おむつ支給人数	おむつを支給した人数	人	148	-	-	-	-
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	受領者一人当たりの費用(千円)					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	総事業費(千円)/受領者数				
	3,040	2,980	内容	報償費、印刷製本費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			18.0	20.0	21.4	20.0	21.0

事業対象	臼杵市に住民登録をした新生児の保護者等	今年度の成果	使用できる店舗の周知のため、商品券の封筒に使用例のチラシを同封し、配布時に紹介しました。
------	---------------------	--------	--

成果指標	指標名	満足度	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	健診時に実施したアンケートによる満足度		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	アンケートを通じて、市民ニーズを反映した事業を実施することによって、市民の満足度の向上を図ります。		%	82.8	90.8	88.0	84.6

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	多くの方から「とてもありがたい」と喜びの声をいただいています。「産後は料理が出来ないため、惣菜の購入に使えた」「家計的な面で助かった」との声もあり、産後の母が休めるような効果も得られています。既存の商店街の商品券を活用して贈呈しているため、効率的で、また、商店街活性化にもつながっています。ほとんどの方が商品券を使用しており、効果は出ていると考えられます。	

事業の問題・課題	満足度は85%と高いですが、商店街でどのように使ったら良いかわかりにくいので、店舗名の一覧表に加えて、使用例のチラシをお渡ししています。	目標達成に向け、次年度以降の取組	引き続き、お買物券をお渡しする際、お買物券利用者の使用例のチラシを作成し、配布時に紹介します。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	順調	貢献度 大	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
C - 19	福祉課

事務事業名	安心生活お守りキット事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画 (施策評価) との関連	施策名 (施策コード)	VII-21-50	防犯・見守り体制の充実
	施策の課題 (事務事業の実施目的)	市民が自らを守る防犯意識をを向上する取組や地域ぐるみでできる防犯活動の充実を図り、市民一人ひとりが「自分の身は自分で守る」という防犯に対する意識を高める体制の構築を目指します。	
	関連施策名 (施策コード)	I-1-2 I-4-9	医療・保健・福祉の連携 生活の安定と自立への支援

事業内容 (経緯)	70歳以上の高齢世帯や障がいのある方、健康に不安のある方などが、方が一の事態に備えるためのツールとして、「安心生活お守りキット」を冷蔵庫に設置します。また、地域内での見守り体制を強固なものにし、安心して生活を送ることができるような環境を整えることや、集めた情報を市が取りまとめて台帳を作成し、消防署、区長及び民生委員児童委員で情報を共有することで、地域での見守り活動や救急、防災などに活用します。			
--------------	--	--	--	--

行動指標 (実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
					R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
	①	お守りキット普及のための説明会等の開催件数	福祉課職員による対応件数	件	0	25	29	28	30
	②	新規加入者件数	半年度の対象者からの申し出件数	件	37	689	314	301	400
	③	救急搬送時におけるお守りキット活用件数	消防署からの報告件数	件	78	12	8	7	50
④	ひまわりサービス(年1回目)希望者世帯数	キット加入者からの希望による。R4実施してないため、実績値「-」	世帯	1526	1516	-	1396	1700	

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	お守りキット加入者 1人あたりの費用					
	前年度 (R4)	当該年度 (R5)	会計	一般会計	説明・算式・引用	総事業費/お守りキット加入者(円)					
	1,232	1,180	内容	消耗品費、通信運搬費、委託費	コスト指標 (単位当たりの費用)	数値の推移	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
			財源	一般財源			345.8	448.0	227.3	221.8	220.0

事業対象	①70歳以上の一人暮らし②70歳以上のみの世帯③障がい者④健康に不安のある方等で配布を希望する方	今年度の成果	令和5年度の新規加入者数が301件、これまでの延べ加入者合計数が10,026件となりました。
------	--	--------	--

成果指標	指標名	お守りキット登録者数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	年度末における単年度でお守りキットに加入した人数		R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
	指標設定の理由	お守りキットを現在利用している人数がわかる	人	5,349	5,580	5,418	5,318	5,350

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	お守りキットは、区長・民生委員児童委員による地域の見守り活動の基盤となっています。毎年度お守りキット更新作業を行って最新の情報に更新しており、区長・民生委員児童委員等の声掛けが地域のつながりに役立っています。

事業の問題・課題	区長や民生委員児童委員の協力により成り立っているお守りキットの更新作業や新規対象者への声掛けについて、区長、民生委員児童委員の負担を減らしながら事業を継続していく方法を検討する必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	お守りキットの必要性を区長や民生委員児童委員だけでなく、市民の方にも知ってもらうために、市報等で周知をします。また、お守りキットを通じて見守りが必要な方を把握してもらい、見守り体制を強化します。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	強化
施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。			

番号	課名
C - 20	福祉課

事務事業名	臼杵市市民後見センター運営事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-4-9	生活の安定と自立への支援
	施策の課題(事務事業の実施目的)	臼杵市市民後見センターを中心として、認知症や知的障がい、その他の精神上の障がいがあることにより、財産管理や日常生活に支障がある人たちを支えるため。	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	市民後見人の養成や法人後見の受任等に取り組み、成年後見制度全般に係る地域の調整役や相談窓口としての業務を担う「臼杵市市民後見センター」を運営しています。令和元年度には大分県初となる中核機関として位置付け、「地域連携ネットワーク」強化のための金融機関や青年会議所への広報に取り組むとともに、申立代理人や推薦する後見人についても「受任者調整会議」で検討を行い、適切な支援が行える環境を整えています。			
----------	---	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	市民後見人の養成数	市民後見人養成講座の修了者数(単年度)	人	11	9	8	13	10
②	法人後見の受任件数	家庭裁判所から社協を後見人とする審判が下された件数	件	8	3	5	7	5
③	広報活動件数	既存の会議や街道等に参加し、広報活動した件数	件	43	44	79	36	80
④	後見センターへの相談件数	後見(あんサボ含む)に関する相談件数	件	1656	1705	1880	1742	1900

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	後見センターへの相談件数					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費/後見(あんサボ含む)に関する相談件数(千円)				
	21,215	21,215	内容	委託費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源、国庫支出金			10.1	12.4	11.9	11.8	10.0

事業対象	判断能力が不十分な方(精神・知的障がい者、認知症高齢者等)およびその親族等	今年度の成果	市民後見人養成講座を開催し13名が修了し、修了者の総数は125名となります。受任者調整会議では、新規7件について適切な申立人や後見人等の候補者を検討し、そのうち、市長申立は1件です。
------	---------------------------------------	--------	---

成果指標	指標名	受任者調整会議の件数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	受任者調整会議での新規検討ケース数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	後見センターのあり方と制度を必要とする方へアプローチの実績	件	9	5	5	4	10

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	高齢化に伴い、成年後見制度利用者の増加が見込まれることから、市民後見人の養成や受任者調整会議によるケース検討、関係機関との連携、広報活動などを通じて、ニーズの増加に合わせた体制の強化を進めている。	

事業の問題・課題	若年層への制度の正しい理解や認知度向上が課題である。出前講座など各ネットワークで利用しやすいよう取り組みを行っているが、利用者は高齢者が中心であった。若年層へアプローチすることが、よりニーズにつながる可能性が大いにあるため、広報活動における新たな手法を検討することが必要である。	目標達成に向け、次年度以降の取組	臼杵市後見センターを中心として、各関係機関との連携や広報活動を強化していくことで、成年後見制度の認知度向上と制度を必要とされる方への支援を届けていきます。
----------	---	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	順調	貢献度 大	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
C - 21	福祉課

事務事業名	社会福祉協議会補助金		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-4-9	生活の安定と自立への支援	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	地域福祉の推進のためには社会福祉協議会の安定的な運営が不可欠であるため補助金を支給します。		
	関連施策名(施策コード)	I-3-6	高齢者の生きがいづくりへの支援	
		I-4-8	障がいのある人の社会参加・就労支援	

事業内容(経緯)	臼杵市社会福祉協議会は地域福祉の推進を目的に、地域やボランティア、関係機関、行政等の協力のもと、社会福祉事業、その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活発化を行っており、その運営を支援するために補助金を交付します。			
----------	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
					R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	①	相談受付件数(総合相談事業等)	銭、福祉サービス等日常生活に関する全ての相談受付	回	1699	2061	1880	2034	2000
	②								
	④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	相談受付件数(総合相談事業等)				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費/相談受付件数			
	25,563	25,563	内容	補助金	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般会計		15.0	12.4	13.5	12.5	12.7

事業対象	高齢者、障がい者、生活困窮者等	今年度の成果	各種相談に対する対応、各種サービスや制度利用の提供及び各専門機関との連携した支援により、相談者が安心して地域で生活できる環境作りの手助けをしています。
------	-----------------	--------	---

成果指標	指標名	社協に相談して困りごとが解決した件数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	安心サポート利用者、後見の受任者数、フードバンク対応件数、生活福祉資金新規貸付件数、生活困窮者終結者数、司法書士相談、心の専門相談件数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	社協に相談した人の困りごとが支援に繋がった件数	件	895	585	449	635	500

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	福祉的な課題を抱えた人の相談は多岐に渡り、その解決方法も様々ある中で、相談者がいずれかの支援に繋がったことによって、一つでも課題が解決できたことは大きな成果である。	

事業の問題・課題	福祉的な課題を抱えた相談者の相談内容は多岐に渡り、すぐに解決できない課題も多いため、支援する側は、相談者に寄り添い長い期間伴走支援等で関わり続ける必要があるため、支援者の負担が大きくなる。	目標達成に向け、次年度以降の取組	社協も職員研修等でスキルアップを図っているの、市も連絡会議や個別協議の機会を利用して社協との連携を深め、社協の体制強化に協力していきます。また、重層的支援体制整備事業等の国の事業も活用していきます。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	強化 施策に対する貢献度が大きい、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
C - 22	福祉課

事務事業名	生活困窮者自立支援事業		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-4-9	生活の安定と自立への支援	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	生活困窮者に対して、社会福祉協議会を中心とした支援の充実を図り、自立に向けた生活支援、就労支援を含めた包括的な支援を行います。		
	関連施策名(施策コード)	-		

事業内容(経緯)	生活困窮者の全体像を把握し、稼働年齢にある経済的困窮者が社会的に孤立しないよう、自立相談支援・就労準備支援・家計改善支援等を活用することにより、生活困窮からの脱却に向けた困窮者の自立支援策の強化を図ります。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	自立支援相談件数	社協でうけた新規相談件数	件	528	356	227	217	250
②	支援プラン作成件数	支援調整会議で決定したプラン件数	件	24	23	24	27	25
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	自立支援相談件数(1件あたりのコスト)					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費/自立支援相談件数(千円)				
	28,460	24,723	内容	委託料	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源、国庫支出金			52.4	80.0	125.4	113.9	75.3

事業対象	市内生活困窮者	今年度の成果	この事業を通じて、生活困窮から脱却し生活保護受給者の増加を抑制します。 令和5年度 自立支援相談件数: 217件 令和5年度 支援プラン作成件数: 27件
------	---------	--------	---

成果指標	指標名	プラン終了決定件数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	支援調整会議で自立支援終了した件数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	プラン終結件数を評価するため	件	24	22	20	31	20

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	困窮者の家計立て直しに向けた家計改善や就労準備支援により、生活保護に陥らずに済む事例が数件ありました。 様々な理由により生活困窮となった対象者への支援には、多くの時間を要す場合が多いが、じっくり信頼関係を築き支援を行うことで自立に向けた実績に結びつけることができます。	

事業の問題・課題	相談事業所からの、課題を抱えている人へのアウトリーチが緊急課題であり、就労準備と家計改善については、当事者が相談を受け入れるまでの時間もかかり、特に就労準備は長期的な支援が必要となるため、社会生活の改善まで伴走型の支援を時間をかけ続けていく必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	社会福祉協議会を中心として、地域の関係機関等とのネットワークを強化し、自立に向けた生活支援、就労支援を含めた包括的な支援を進めていく。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
C - 23	福祉課

事務事業名	臼杵市障がい者(児)相談支援事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-4-8	障がいのある人の社会参加・就労支援
	施策の課題(事務事業の実施目的)	障がいのある人が自らの選択と決定により主体的に行動し、社会のあらゆる活に参加しながら生きがいをもって生活できるよう、社会参加機会の提供を促進します。	
	関連施策名(施策コード)	I-4-9 I-1-2	生活の安定と自立への支援 医療・保健・福祉の連携

事業内容(経緯)	障害者総合支援法に基づき、障がい者(児)並びにその家族が生活上必要とする情報の提供や相談支援等を行うことにより、地域の中で自立した日常生活または社会生活を営むことができるようにするために相談支援事業を実施しています。 障がい福祉サービスから日常生活までの全般に関する相談等を行いました。 自立支援協議会は、各専門部会や全体会を通じ、全部会合同意見交換会や福祉フォーラムを開催し、地域課題の共有を行いました。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	相談件数	年間延べ相談件数	件	17,259	18,405	19,865	22,045	22,500
②	自立支援協議会開催回数	本会、正副会議、各専門部会の開催回数	回	32	40	47	47	48
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	障がい者相談支援事業の相談件数				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費/相談件数(千円)			
	22,568	22,568	内容	委託料	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	国庫補助・県補助・一般財源		1259	1226	1136	1023	1003

事業対象	障がい者(児)	今年度の成果	相談件数は年々増加しており、今年度も前年を超える件数となっています。それに伴い、障がい福祉サービス利用者も増えており、障がい者の社会参加や自立の促進につながりました。
------	---------	--------	---

成果指標	指標名	障がい福祉サービス利用者数				単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	各種障がい福祉サービスを利用した合計人数					R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	相談の結果、必要な支援につながった人数がわかる				人	11,507	11,563	11,595	11,795	11,830

評価	有効性	効率性	評価の理由		
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	相談件数の増加に伴い、障がい福祉サービス利用者数も増加しています。		

事業の問題・課題	障がい福祉サービスが必要な方が、そのサービスを利用しながら地域で自立した生活を送ることができるよう、関係機関との連携を強化し、継続して事業周知を行っていく必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	市報やHP,SNS等を活用しながら、引き続き広く市民の方に呼び掛けていきます。また、臼杵市地域自立支援協議会において地域課題を共有、協議し、障がいのある方の自立した地域生活を目指します。
----------	---	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	順調	貢献度 大	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。